

心のひろば

第400号二〇一七年七月一日
発行 于野 岡山市中区浜四七二
林友の会
電話 (086) 271-1811 (代)
電話 (086) 271-2957 (代)
発行責任者 石田正也
紙代一部50円(郵送料15円)

林友の会2017年度定期総会 要望を運動に! 幅広く地域のこころの 健康問題にとりくむ方針を決定



▲石田正也会長からのあいさつ

6月10日(土)、林病院ひまわりホールで「林友の会2017年度定期総会」を開催し、約90名の参加がありました。

第1部では、石田会長のあいさつの後、林財団吉村専務理事、林潤市議会議員、障害者の生活と権利を守る岡山県連絡会吉田会長から来賓あいさつをいただきました。続いて議事に入り、池橋事務局長より、第1号議案「2016年度活動の

まとめ」、第3号議案「2017年度活動方針」、第4号議案「2017年度予算」、第5号議案「2017年度役員体制」についての提案がありました。また、真田事務局より、第2号

議案「2016年度決算」、今岡監査より、「会計監査」の報告がありました。参加者からの質疑応答を挟んでの議案の採択では、すべての議案が拍手で承認されました。その後、新役員紹介と退任役員からのあいさつがあり、第1部の定期総会は終了しました。

休憩後、第2部の記念講演では、林財団の第8次長期計画を踏まえて、林英樹理事長より「林財団の医療・福祉活動」、藤田文博副理事長より「岡山ひだまりの里病院の「いま」と「これから」と題した講演がありました。

※総会に参加されていない方で議案書(冊子)が必要な方は事務局までお申し出ください。
※講演の概要は次号に掲載します。

退任役員

妻井 令三 常任幹事
鹿倉 恵子 幹事
塚元 恭子 幹事

2017年度役員

会長	石田 正也
副会長	荒木 潤子(新)
事務局長	宇野 武夫
事務局次長	平井 昭夫
常任幹事	頭師 裕貴(新)
幹事	真田 昌子(新)
顧問	高橋 陽子
監事	岩崎ゆう子(新)
今岡 清廣	河本 悟新
佐藤 陽子	榎本 宏枝
池橋 陽子	景山富久子(新)
鷺尾 裕	木口 盛雄
松本ちどり	中島 純男
林 潤	中山 芳樹
野上 千裕	中島 純男
野上 千裕	南雲千代子
萩原早百合	早瀬 文香
吉野 一正	赤澤 清子
加嶋 昌子	夏代(新)
星 昌子	武田 英夫
榎 崇行	

当事者交流会 ゆとりの会
病気、人間関係、将来のことなど当事者同士で交流しています。お気軽にどうぞ。
日時：7月2日(日) 10時~11時半
場所：林病院喫茶ローザ
参加費：100円 (お茶菓子代)

当事者研究
当事者研究は、患者さんが自分の病気や生きづらさについて参加者と一緒に考えるプログラムです。どなたでも参加できます。
日時：7月8日(土) 13時~16時
場所：林病院ひまわりホール
コーディネーター：長崎 和則 先生
参加費：100円

家族交流会 あじさいの会
心の病気をもつ方のご家族なら利用している医療機関を問わずどなたでも参加していただけます。初めての方もお気軽にどうぞ。
日時：7月28日(金) 14時~16時
場所：林病院喫茶ローザ
参加費：100円 (お茶菓子代)
※曜日が変わっています

ひだまりの里病院 和太鼓コンサート
恒例となった和太鼓コンサートをおこないます。ひだまりの里病院を利用されている患者さん、ご家族の方はぜひご参加ください。
日時：7月29日(土) 10時半~11時
場所：岡山ひだまりの里病院 2F 病棟
出演：ふじた傳三郎太鼓保存会

幹事会報告
★第1回幹事会(6月10日)
◇南雲先生記念碑募金のとりくみの報告がありました。
1. 幹事会日程
2017年度の幹事会開催日程を確認しました。
2. 林財団との定期協議会
年間2回の開催と出席役員を確認しました。
3. 今後の活動
「ひだまり和太鼓コンサート」の案内があり、「市民公開講座」と「日帰りバス旅行」について議論しました。

こだま
トランプ大統領の登場以降、世界の動向での心配事が膨らんでいる。選挙で勝てばすべてを任せられたとする力任せの姿勢が背景にある。日本も同じだ。安倍政治は安倍さんお気に入りの加計さんなど、特別な人たちにとっては肥え太るものであるが、憲法改正を首相自らが公言するなど国民大多数にとっては日常生活を脅かす悪政が続いている。政府のいう「我が事・丸ごと」地域共生社会構想はまさにそのひとつ。社会保障の公費を抑制するために「共助」としている介護保険など社会保険を拡大してきたが、財政難を理由に「互助」が支えるべき、という流れを強めている。地域住民等の支え合いをまず求め、高齢障害、子どもなどの福祉サービス、子どもの福祉サービスの包括化のために、介護保険優先原則を堅持するもので、高齢障害者の生活や生存を脅かすものとなる。
▼「65歳で障害者を差別するな」の浅田訴訟は、提訴以来約4年、7月19日の第20回口頭弁論で結審となる。提訴の背景には、障害者を保護するものではなく、人としての権利を保障するものという、障害当事者が長い年月をかけて築き上げた理念と浅田達雄さん自身の信念がある。
▼資本主義的合理性の許容する「能力にもとづく平等」から「人権としての平等」を具現化することは障害者問題の解決だけでなく、国民の社会的格差を解消していく道でもある。ここでも多数の市民の共闘が求められている。(N・S)

これからの認知症医療・ケアを展望する

アルツハイマー国際会議&オランダ視察



▲国際会議の様子を報告する妻井さん

7日、会場の岡山ひだまりの里病院・三彩亭は林友の会会員のほか地域や患者家族の参加で満席となりました。

まず国際会議の概要は友の会常任幹事の妻井令三さん(認知症の人と家族の会岡山県支部顧問)から報告がありました。

前回の日本開催は「痴呆」が認知症と改まった2004年で今回と同じ京都が会場でした。この時、認知症の当事者が、会議場の壇上から自分の思いを自らの言葉で語ることに衝撃を受けた。あれから13年経ち、今回は200人の当事者が参加する分科会ができるまでになったことに、認知症に対する理解がこの間の運動によって徐々に広がってきたことを感じたそうです。また、世界的に認知症対策は課題となっている。日本でも認知症の人を支える制度は出来つつあるが、まだ

まだ十分でない。この会議を契機に更に社会への理解と制度の拡充を望むと話されました。

続いて、ひだまりの里病院の中浜暢子作業療法士、松村和浩看護師からも会議に参加して、感銘を受けたこと、今後の活動に活かしていきたい貴重な体験だったことが報告されました。

後半はひだまりの里病院の藤田文博院長が見聞きしたオランダの高齢者の福祉の現状です。オランダは認知症の取り組みの先進国で、認知症カフェや認知症施策のモデルでもあります。視察では、在宅支援の拠点「ヘリアント」や当事者が居場所として立ち寄れる「オデンセハウス」を見学し、どのように運営され役割を果たしているかが報告されました。日本と違い、サービス提供の認定区分がない。また、日本で言われる認知症初期集中支援をマ

精神科医療を治安の道具にする 精神保健福祉法の「改正」成立せず

昨年7月に相模原市で起こった障害者殺傷事件。事件後、審議会での検討を経て2月28日、政府は精神保健福祉法の改正を閣議決定し、改正案を国会に提出しました。

この法案は、相模原事件の犯人が事件前に*措置入院していたことから、凶悪犯罪と精神科入院を安易に結びつけたものです。退院後支援計画を協議する会には、本人や家族の参加は「必要に応じて」とされる一方、警察の参加を可能としました。また対象者が転居する際、転居先の自治体に支援計画等を通知するなどの内容が盛り込まれ、対象者を半永久的な監視体制に置き、プライバシーや人権を著しく侵害します。

厚労省は国会審議中、関係者の批判を受けて改正趣旨から「二度と同様の事件が発生しないよう」という部分を削除し、改正根拠が崩れるという異例な事態になりました。精神鑑定では

妄想や幻覚によるものではないと結論が出ています。再発防止というのであれば、優生思想的な障害者への偏見を許さないととくみを進めるべきです。精神科医療の役割は、精神疾患の病状改善や精神的健康の保持増進です。精神科医療が治安の道具になれば、医療者や入院者の信頼関係も築けなくなるでしょう。

改正案は、「精神障害者への差別偏見を助長する」との世論に、今国会では継続審議となりました。引き続き廃案を求めていきたいと思います。(事務局 池橋陽子)

*措置入院：自傷他害の恐れ(自分自身を傷つけたり他人を傷つけたりする可能性)が高い場合に行政の措置としてする強制入院

障害者の暮らしの場を考える グループホームを考えよう

5月28日(日)、林病院ひまわりホールで障害児者の暮らしの場を考える企画「グループホームを考えよう」が行われ、33名が参加しました。講師は2016年に自閉症青年の「グループ・ホーム・ほっぷ」を立ち上げられた、NPO法人岡山県自閉症児を育てる会

の鳥羽美千子さん、鳥羽俊郎さん、松浦里美さんでした。鳥羽美千子さんのお話では、「ないものは作っていいこう」を合言葉に様々な活動をしてきたことや、大人になった彼らが地域で普通に働き暮らすために社会の理解が不可欠と考え、寄付を募り、補助金を申請し、

借入金をしてグループホームを設立したことなどが話されました。地域の資源として受け入れられ、地域に溶け込み愛される自閉症の人たちのグループホームをめざしてこられたそうです。そこで、グループホームの食堂を利用しカフェを併設しました。カフェは自閉症の情報発信や地域住民と自閉症関係者の交流の場となっています。将来は、障害者の働く場としての提案も考えているとのことでした。グループホームは終の

住みかではなく自立するための訓練ホーム。丁寧な支援をしながら、自立して親亡き後に地域で安心して暮らしていくことを目指しています。鳥羽俊郎さんはグループホームの建築費や維持費、給付金などを具体的に説明してくださいました。また、松浦里美さんは利用者の親として、夢は地域の中で安定して暮らしていくこと、と話されました。講演後には4つのグループに分かれて交流しました。参加者からは、「グル

ープホームは個室でプライバシーが守られ、町中で便利な所がよい」「学校教育を卒業した後の行き先が大事」などの意見が出されました。

社会保障が削られている中「親亡き後の具体的問題として障害者が安心して地域で暮らしていくこと」は重要なテーマです。8月20日に予定している「障害者の暮らしの場を考える連絡会発足集会」につながる会となりました。(事務局 真田昌子)



▲真田事務局次長(左)と頭師事務局長(右)

ごあいさつ
池橋前事務局長の後を引き継ぎ、2017年度から林友の会で事務局長となりました頭師裕貴です。4月から事務局に異動になり数ヶ月間、毎日が友の会活動や運動の勉強です。そうしたなか、様々な場面で不慣れな私を励まし気遣って下さる役員や会員の皆様に日々助けていただき、感謝すると共にとても心強く感じています。まだまだ勉強不足でわかりませんが、林友の会がこれまでやってきた活動やとりくみを後退させることのないよう、真田事務局次長と力を合わせてがんばってまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。

新基地建設反対 辺野古座り込み連帯支援行動

林財団



▲参加者はひとりずつ座り込み行動への想いを発言しました

5月18日(木)、沖縄・辺野古での新基地建設強行に反対するキャンペーンシュワブゲート前座り込み連帯支援行動に参加しました。座り込みを始めて1047日目のこの日、県外支援者を含む約40人が座り込みをおこないました。

昼過ぎ、基地内に工事車両が入り込むため、座り込みの強制排除が始まりました。何十人もの機動隊員が来て、座り込みをしている人を1人ずつ、3人から4人がかりで抱え上げ、ゲートから離れた場所に強制的に移動させます。また、排除した人たちがゲート前に戻れないように周囲に立

ちふさがり、柵と人で囲い込みます。非暴力の座り込みに対する、人を人として扱わない力による強制排除を間近で見ていると、そのやり方に強い怒りを覚えました。すべての人が排除されるとゲートが開けられ、10数台のトラックやミキサ車が次々と基地内に入り、入れ替わりに10数台が出ていきました。終了後は、再びゲートが閉められ機動隊員も去ります。そして、参加者は座り込みを再開します。機動隊による強制排除は「ごぼう抜き」とよばれ、1日に3回ほどおこなわれるそうです。

座り込みは体力的にも大変です。しかし、日々続けられている非暴力の座り込みが工事を遅らせているこ



とは間違いありません。現地の方と共に行動し想いを共有するなかで、目にした耳にした言葉、「勝つ方法はあきらめないこと。」辺野古での運動はこの言葉に尽きると感じました。闘いは続きます。これからも、現地の方々に連帯して基地をなくすために行動していきたいと思えます。

(事務局 頭師裕貴)

つばさ薬局

笑顔を大切にする薬局です

どこの病院の処方箋も受付致します

【営業時間】
月水木金 9:00~17:30
火曜 9:00~17:00
土曜 9:00~13:00
日・祝日 休み

【電話】
086-272-2710
【処方箋受付 FAX】
086-272-2713

〒703-8256 岡山市中区浜 621-1

つばさ薬局 検索

新任医師紹介

町野 文規先生

ふみのり

こんにちは。今年四月から林病院で精神科後期研修を始めました町野文規です。私は東京の法政大学で西洋哲学を学んでいました。西洋哲学はギリシャのプラトンから近代のデカルト、ドイツ現象学に至るまで心を扱う伝統があります。これらは皆、現代の心の理論に直接つながっていると言

鳥越美沙子先生



今年4月より林道倫精神科神経科病院で勤務を開始させていただきました鳥越美沙子と申します。私は岡山県出身です。川崎医科大学を卒業し、卒業後は岡山

ソワニエ看護専門学校 オープンキャンパス2017

今年もオープンキャンパスを行います。

1回目 7月15日(土) 9:30~12:00
2回目 8月19日(土) 9:30~12:00

☆受付は9:00までをお願いします。

学生実行委員が中心となって準備を進めているところです。在校生と直接話ができる人気のカフェコーナーでは「授業は?」「一人暮らしは?」などの疑問をオープンキャンパスで解決!

【お問合せ先】
(公財)林精神医学研究所 ソワニエ看護専門学校
電話: 086-274-6455 担当: 角南、石原

協立病院で初期研修を行い、途中、出産などもあり、ようやく専門分野での研修を始めるところです。岡山朝日高等学校に通っていたため林病院の周辺の土地にも馴染みがあり、毎日懐かし

思います。入職当初は緊張のため、病院では黙々と勤務をしていただけですが、精神科は特に、患者さんやスタッフの方々とコミュニケーションが大切だと痛感したため、今後は積極的に会話をしていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくおねがいします。

おられます。今後は、深い知識を身に付けるとともに、その患者さんの人生をトータルに理解して治療にあたるように日々努力していこうと思えます。入職当初は緊張のため、病院では黙々と勤務をしていただけですが、精神科は特に、患者さんやスタッフの方々とコミュニケーションが大切だと痛感したため、今後は積極的に会話をしていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくおねがいします。



●毎号楽しみにしています。看護師と介護士の新しいユニフォーム、カッコイイです。私は以前、介護士をしていましたが、こういうカッコイイユニフォームを着て自分のため患者さんのために介護士が看護助手をしてみたいです。(Y.O)

●六月から葉書が値上りするので、大急ぎでクイズを解きました。ビールも値上りするか。大企業はもうかってしょうがないかもしれないけど、我々庶民の生活は苦しくなる一方です。森友学園、加計学園の億という数字は全くピンとこないけれど、真実は明らかにしてほしい絶対に。(倉田 ひろ子)

●「心のひろば」は友の会の活動がよくわかり、楽しみにしていますよ。今、地域の方々と「ふれあいクラブ」を作り、地域での出会いを大切に交流を進めています。4月に、中山芳樹さんの「峠のむこうへ」の出版記念会で、初めて林病院を訪ねました。いい病院ですね。(住寄 善志)

●やっと元気になり、クイズも復活です。何よりも、身体がある程度回復したのがうれしい今日一日。(土屋 隆一)

●何もかも値上ですね!! (今出 祐介)

●「あじさいの会」は、当事者不参加でやった方がいいと思います。私の妻は、当事者がいては言いたいことが言えないと申し出ておりました。当事者には聞かせられない、家族ならではの悩み、意見を吐き出す場にしてこそ、「あじさいの会」は生きてくると思っています。(中井 進吾)

●森友学園につづいて加計学園問題と疑惑の渦中にある安倍夫妻。こんな首相を日本がかかえていると思うと、世界中からいい笑いものです。それにしても、子どもたちにどう説明すればいいのか、学校の先生たちは困るでしょうね。(ゲジさん)

●母が死去しました。「今日の料理よく出来ていたよ」と言ってくれていました。4人の子供も無事に生きていて幸せな一生だったなとほっとしています。(石原 行子)

●南雲先生記念碑設立のよびかけに大変うれしく思います。同時に、先生がめざされた精神医療の理想を確固として引き継ぎつがれんことを期待します。(矢田 初恵)

●梅雨になると、今から畑や田んぼで苗が、水の恵みで成長する。花も七月になる迄、ユリやナデシコが美しいのでその感性を、大切にする心の広さを持ちたい。(楠見 八重)

●親子で懸賞に応募をよくしますが、当たる時は色々な物に当たるのに当たらない時は全く当たりません。不思議ですね。(岡田 頼子)

●田植がやっと終わりほつとしております。うちのまわりは5月末ですべて小さな苗でうめつくされました。(上原 泰彦)

●初めての担当医師が南雲先生でした。あれから10年以上も経つのです。おかげで職場復帰できたことを記念碑に伝えたいです。(宮岡 豊)

お知らせ

●浅田訴訟は提訴から3年半!いつ判決が出るのか!

●浅田訴訟は提訴から3年半!いつ判決が出るのか! 13時~16時 岡山市勤労者福祉センター 4F会議室 Eテレ「障害者と憲法」視聴 弁護士から 参加者からの意見 浅田達雄さんを 支援する会 TEL:086-254-5866

●障害者の人権を考える学習講座 講演 「障害者のニーズに合った合理的配慮は？」(仮題) 日時 7月30日(日) 13時半~16時 場所 高島公民館 講師 川島聡先生(岡山理科大学) 資料代 500円(障害者無料) 主催 岡山肢体障害者の会 連絡先 TEL:090-8246-4140

クロスワードパズル

Grid for crossword puzzle with clues and letters A, B, C, D.

ヨコのカギ

- ①ルーージュを塗るところ ④ヘソのは食べられない ⑥農具の一つ。〇〇とスキ ⑦街で声をかけられ芸能界入り ⑨短歌や長歌の総称 ⑫⇄部下 ⑮畳を敷いてない空間 ⑰銀世界になってしまうもの ⑲わがママを言って、こねる ⑳クロコダイルやアリゲーター ㉑ウスバカゲロウの幼虫

タテのカギ

- ①掛け算の基礎 ②最小の犬種 ③家には誰もいません ④入ったら従う ⑤火消しの旗印 ⑧その家の慣習 ⑩ギャンブルをする施設 ⑪「番町皿屋敷」や「牡丹灯笼」など ⑬繁華街や町内など暗くなつてからのパトロール ⑭交われば赤くなる ⑯無料 ⑰自国へ帰ること ⑲空にかかる七色の橋

クロスワードを解き、二重枠に入った文字を並べてできる言葉をハガキかメールでお送りください。住所、氏名、紙面や友の会活動に対するご意見・ご感想をお書きください。お名前の掲載ができない方はペンネームか匿名希望とご記入ください。抽選で5名の方に図書カードを差し上げます。応募締切:7月15日

宛先:〒703-8520 岡山市中区浜472 林友の会「心のひろば」編集部 hamawww@po.harenet.ne.jp

第399号の答 ス イ ツ ク カ ン パズル当選おめでとう ◆倉田ひろこ ◆土屋 隆一 ◆住寄 善志 ◆石原 行子 (敬称略) ◆岡田 頼子

Table with 7 columns: 月, 火, 水, 木, 金, 土. Rows for 午前 and 午後. Includes TEL 086-272-8570 and website URL.

林病院 外来診療表 ●入院のご相談は 代表(086)272-8811へお電話ください。入院担当看護師へおつなぎします。夜間・休日も対応しております

認知症専門病院 岡山ひだまりの里病院 外来診療表 月 本田 火 本田 水 藤田 木 鎌田 金 藤田

電話相談 電話:086-272-2957(林友の会) 平日8:30~17:00 生活相談・法律相談・家族相談 各相談は、林友の会事務局員が 事前にお話を伺い、相談者へお取次ぎします。